

平成 26 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ファンコミュニケーションズ
代表者名 代表取締役社長 柳澤 安慶
(コード番号 2461)
問合せ先 執行役員社長室長 杉山 紳一郎
(TEL. 03 - 5766 - 3530)

(訂正)「平成 25 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成25年8月8日に公表いたしました「平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

訂正箇所：添付資料 4 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報
- (2) 連結財政状態に関する定性的情報
- ② キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から687,086千円増加し4,504,712千円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,037,751千円の収入（前年同四半期は567,696千円の収入）となりました。これは、主に法人税等の支払額が583,364千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を1,720,521千円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、198,788千円の支出（前年同四半期は29,453千円の収入）となりました。これは、主に投資有価証券の償還による収入が1,190,000千円であったこと、投資有価証券の売却による収入が368,712千円であった一方、投資有価証券の取得による支出が1,666,836千円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、151,876千円の支出（前年同四半期は438,082千円の支出）となりました。これは、主に株式の発行による収入が85,129千円であった一方、配当金の支払額が237,005千円であったことによるものであります。

【訂正後】

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から687,086千円増加し4,504,712千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,037,751千円の収入（前年同四半期は567,696千円の収入）となりました。これは、主に法人税等の支払額が583,364千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を1,720,521千円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、198,788千円の支出（前年同四半期は29,453千円の収入）となりました。これは、主に投資有価証券の償還による収入が1,090,000千円であったこと、投資有価証券の売却による収入が368,712千円であった一方、投資有価証券の取得による支出が1,566,836千円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、151,876千円の支出（前年同四半期は438,082千円の支出）となりました。これは、主に株式の発行による収入が85,129千円であった一方、配当金の支払額が237,005千円であったことによるものであります。

以 上